



夏休み中の先生は、、、？

今年は例年にも増して暑い日が続きました。児童生徒の皆さんは夏休みで登校しない間、教員は2学期に向けてさまざま研修を行いました。研修は全員参加するものや、関係者が集まり研修するもの、また自主研修として、自分たちが学びたいことをテーマに決めて行うものなど、いろいろなものがありました。

その中で2件の研修の模様をお伝えします。

初任者研修情報共有会

学校全体で初任者を育てていくという視点から、初任者の所属する学部 of 教員や管理職や初任者研修担当者が集まり、初任者の成長や課題について情報を共有しました。

参加者は各々の意見をつなぎながら、お互いを認めることで、初任者も参加者自身も技術向上につながることができていました。2学期以降の初任者を支えるベースができあがったようです。



全校研修 授業作り

児童生徒が“深い学び”となるための授業作りや児童生徒へのつきたい力を教員同士で討議しました。まずは研修部長が職員室にて全職員に、研修の目的を伝えた後、各学部 学年に分かれて研修を行いました。小学部は「生活科」 中学部は「職業・家庭」 高等部は「作業学習」を中心に、単元計画の作成を行いました。

12月に校内授業研究会を実施し、児童生徒によりよい学びができるよう検討する予定です。

